



出荷を控えシクラメンの手入れをする倉澤晃さんと妻の明美さん

## 倉澤さん県花品評会で知事賞に

群馬県・県園芸協会、全国農業協同組合連合会県本部が主催する第57回群馬県花品評会の審査が11月30日、県庁県民ホー



出荷を待つシクラメン

ル北側で行われ、鉢物192点の出品の中から県鉢物研究会北毛支部で本村の倉澤晃さん(根岸)のシクラメン(フロレストシューベルト)が見事県知事賞に輝きました。

この品評会は花への理解と消費拡大を目的に毎年開催されており、12月1日には一般公開され、2日には即売会が行われました。現在、本格化したシクラメンの出荷作業に汗を流す倉澤さん。

自身初となる栄誉に「まさか受賞できるとは思っていませんでした。今まで面倒を見ていただいた支部の先輩方に感謝しています」と喜びを語っていました。

## 模擬議会で中学生が政策を提案

中学生模擬議会が11月12日、村役場議場で行われました。

この模擬議会は、実際に議会を体験することにより、中学生に地方自治の仕組みや村の行政の役割について知ってもらうと村議会が提案。

今年で5回目を迎える模擬議会には、昭和中学校の3年生86人が参加しました。

生徒たちが40歳を迎える25年後に住みたい昭和村の姿をテーマに、3組に分かれ、観光PRや村の野菜を使った新商品の開発、環境対策など村のさまざまな問題について、各グループの代表者が壇上



壇上に立ち堂々と質問する中学生

で質問を行いました。

加藤村長の答弁の際には挙手をして再質問をするなど積極的に自分たちの考える政策を発表していました。



実際の議会さながらに行われた模擬議会

## 馬場さん8020

### 運動達成者として表彰

8020(ハチマルニイマル)運動を達成したとして、馬場光雄さん(81歳・赤谷)が県歯科医師会より表彰されました。

この運動は80歳以上で健康な自分の歯を20本以上残すことを目標とするもの。

今回表彰されたのは県内在住の342人。うち利根沼田地域では72人。村では馬場さんが唯一の対象となりました。

歯の健康のためには「定期健診が不可欠」と馬場さん。「大好物の漬物が自分の歯で味わえるのがうれしい」と語っていました。



表彰された馬場光雄さん(赤谷)



村ふるさと大使として委嘱状を受け取る川村明正さん

## 村ふるさと大使に新たに8人

昭和村の魅力を県内外にPRする昭和村ふるさと大使の委嘱状交付式が11月24日、昭和の森山荘で行われました。今回新たに村のふるさと大使として委



新大使としてあいさつする工藤真理子さん



先輩大使が新たな仲間を激励

嘱されたのは、元NHKプロデューサーで、昨年11月2日に行われた群馬交響楽団による合併50周年記念コンサートの開催に尽力された工藤真理子さん(東京都)や村在任経験のある中小企業診断士の川村明正さん(民子さんご夫妻(渋川市)など)8人。新大使のあいさつでは、工藤さんが「愛する昭和村をこれからも盛り立てていきたい」と語ったほか、大使それぞれが活動の抱負を語りました。今回新たに委嘱された8人を含めて、現在57人が昭和村ふるさと大使として活躍されています。

## いざ!! とうとうときの避難訓練

村内各小中学校・保育園では10月下旬から11月にかけて、火災を想定した避難訓練を実施しました。

暖房器具の使用や空気の乾燥により火災が発生しやすくなるこの時期、子どもたちに、いざというときあわてずに避難できるよう訓練をするとともに、火災防止の意識を持ってもらうのがねらい。

訓練には利根沼田広域消防職員のほか、地元消防団が参加して行われました。

子育て保育園では10月27日に避難訓練を実施。訓練用の煙が立ち込めるなか、園児たちはすばやく園庭に避難。訓練後には実際の消防車を見学。まぢかに見る消



いざ出動!!(子育て保育園)

防車に大興奮。歓声をあげていました。東小学校では11月20日に訓練を実施。理科室から出火したことを想定した避難訓練では、素早く玄関から避難する児童から緊張感が漂っていました。



ハンカチを口にあて、素早く玄関から避難(東小)

## NPO法人清流の会が 公開講座を開催

NPO法人清流の会では11月28日、哲学者で上野村在住の内山節さんを講師に招き、「持続する農村」と題した公開講座を開催しました。

内山さんは講演で、自身が策定にかかわった「ぐんま21世紀プラン」や、農業と日本の社会や文化形成などのかかわりについて講演。フランスの農村のコミュニ

ニティーの仕組みなどにもふれたほか、集まった参加者に「農村を持続するために、農業のさまざまな価値、原点を見直そう」と語りかけていました。



穏やかな口調で参加者に語りかける内山さん